

病院・高齢者福祉施設向け ウォシュレット® PD1A・PD2A施工説明書

◆「ウォシュレット」はTOTOの登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

施工情報

- 必ず同梱のベースプレートを使用してください。旧型のベースプレートでは、ウォシュレットの取り付けができません。
- 必ず便器洗浄ユニットを取り付けてからウォシュレットをセットしてください。（施工のしやすさキズ防止のため）

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

- 警告** 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

⊘	してはいけない「禁止」の内容です。	!	必ず実行していただく「強制」の内容です。
警告		注意	
⊘	浴室など湿気の高い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)	⊘	便座を持って製品を持ち上げない (本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
⊘	指定する電源(交流100V)以外では使用しない (火災や感電の原因になります。)	⊘	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)
⊘	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない (火災や感電の原因になります。)	!	止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない (水が噴き出します。)
!	水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外では使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)	!	施工は施工説明書に従って確実にを行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
!	電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)	!	給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)
!	アース(D種接地)工事を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)		

取り付け前のご注意

1. 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 便器に取り付ける前に、本体にベースプレートをセットして通電しないでください。
温水タンクが空の状態ではヒータが入るため、故障の原因となります。
3. 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力はPD1A・PD2A:1277Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。
4. 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
5. 給水圧力範囲は0.05MPa～0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。

6. 給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。

7. 同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。

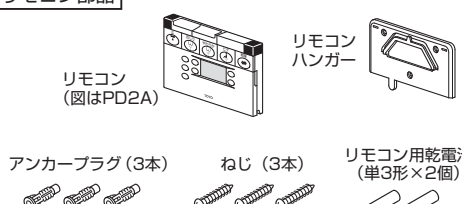
下記の場合はTOTOパーツセンター TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99 へご連絡ください。

給水ホースの長さが不足の場合

給水ホースの長さは約1mです。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、④給水ホースの接続の③項に長い給水ホースを記載していますので、適切な長さのホースを選んでください。

部品の確認

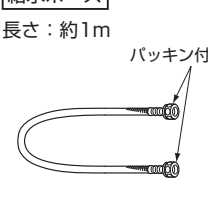
リモコン部品



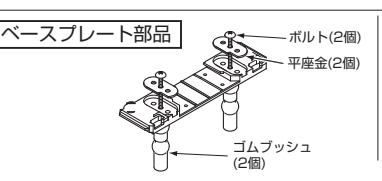
リモコン (図はPD2A)
リモコンハンガー
アンカープラグ(3本) ねじ(3本) リモコン用乾電池(単3形×2個)

給水ホース

長さ: 約1m
パッキン付




ベースプレート部品



ボルト(2個)
平座金(2個)
ゴムブッシュ(2個)

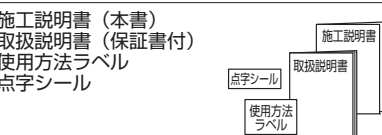
分岐金具




分岐金具
パッキン(2個)

施工説明書(本書)

取扱説明書(保証書付)
使用方法ラベル
点字シール

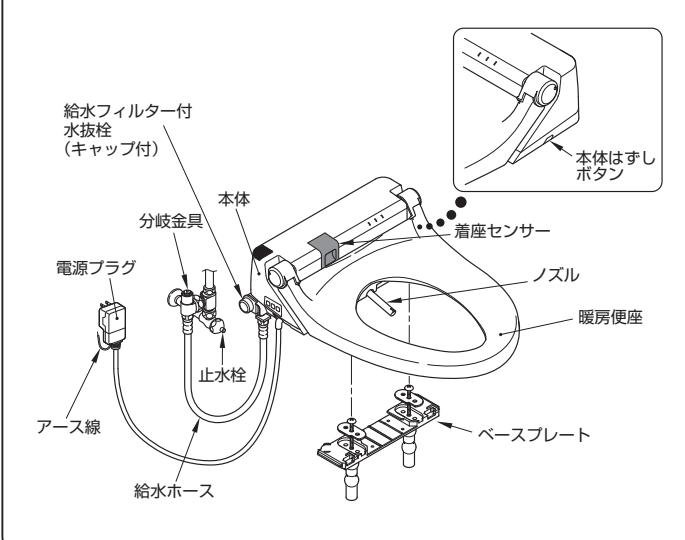


便器洗浄ユニット



袋の中に便器洗浄ユニットの部品が入っています。

各部のなまえ



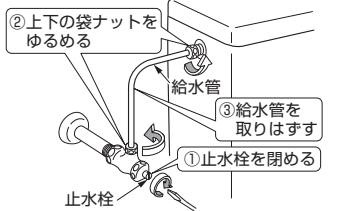
給水フィルター付水抜栓(キャップ付)
本体
分岐金具
電源プラグ
アース線
止水栓
給水ホース
着座センサー
ノズル
暖房便座
ベースプレート
本体はすしボタン

取付方法

1 分岐金具の接続

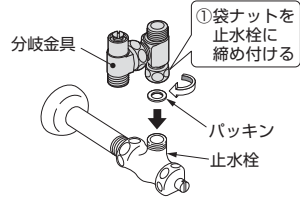
一般のロータンクへ接続する場合

1 止水栓を閉め、給水管を取りはずす

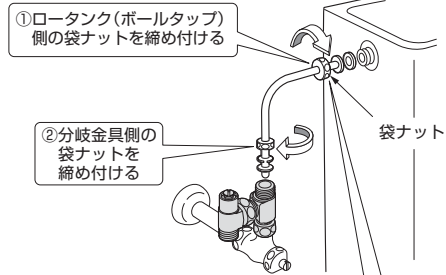


※さびている古い給水管は、お取り替えをおすすめします。

2 分岐金具を止水栓に取り付ける

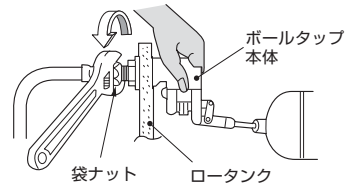


4 給水管を取り付ける

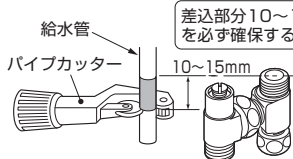


注意

- ボールタップ本体が回らないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り付けられると止水不良の原因になります。

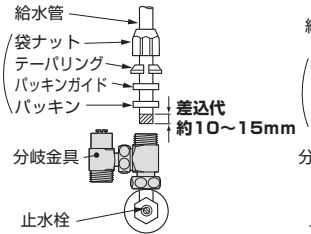


3 給水管の止水栓側を切断する

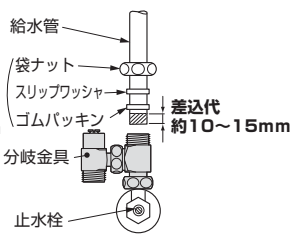


- 給水管の切断はパイプカッターを使用してください。切断後は切粉などを取り除いてください。
- 部品の順番、向きを間違えないでください。

接続部にテーパリングを使用している場合



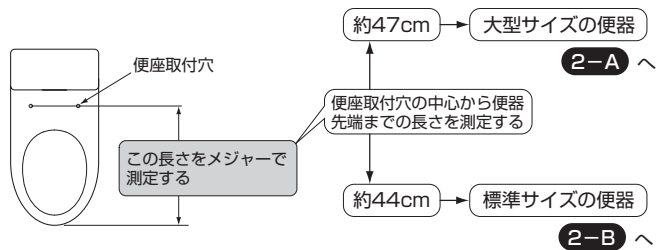
接続部にテーパリングを使用していない場合



2 ベースプレートの取り付けかた

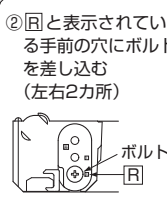
- 注意** • すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットが取り付けできません。

1 便器のサイズを調べる



2-B 標準サイズ便器の場合

- ① 平座金の取付面を確認する (左右2カ所)
• 丸と表示されている面を上にご覧ください。



- ④ ゴムフッシュを便座取付穴に差し込む (左右2カ所)
• ゴムフッシュの表面を水でぬらしておくと差し込みやすくなります。

2 ベースプレートをセットする

2-A 大型サイズ便器の場合

- 注意** ベースプレート部品を分解しないでください。

- ① 平座金の取付面を確認する (左右2カ所)
• 丸と表示されている面を上にご覧ください。

- ② 丸と表示されている中央の穴にボルトが差し込まれているかを確認する (左右2カ所)

- ③ ゴムフッシュを便座取付穴に差し込む (左右2カ所)
• ゴムフッシュの表面を水でぬらしておくと差し込みやすくなります。

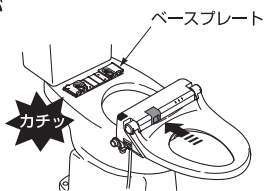
3 ベースプレートを固定する



3 ウォシュレットの取り付けかた

- 1 ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む
- 本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。

注意 正しく取り付けなかった場合は、本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。



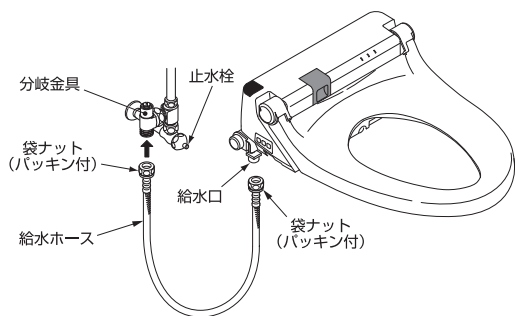
本体の取りはずしかた

- 本体右側の本体をはずしボタンを押したまま、本体を手前に引いてください。



※ 本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタつきが発生します。(これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のすき間によるもので、異常ではありません。)
 ※ 標準サイズ便器に設置した場合、便座の先端が便器より多少出っ張ったり便器のふちが見えることがあります。異常ではありません。

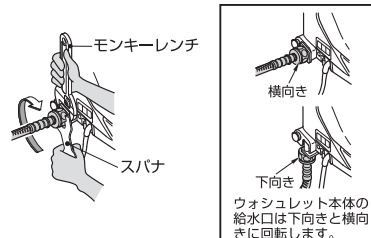
4 給水ホースの接続



1 ウォシュレット本体の給水口に給水ホースの袋ナットを締め付ける

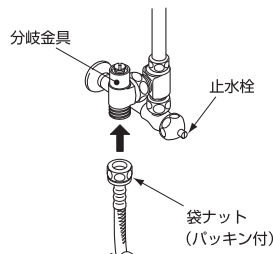
※ この状態のまま製品を床に置かないでください。給水ホースが折れ、水漏れの原因になります。

注意 給水口をモンキーレンチで固定して給水ホースを接続してください。(無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れの原因になります。)



2 給水ホースの袋ナットを分岐金具に取り付ける

注意 給水ホースの袋ナットは確実に締め付ける。(確実に締め付けしないと水漏れの原因になります。)



3 給水ホースを取り付けた状態で、本体を取りはずしたり取り付けたりできる長さがあるか確認する

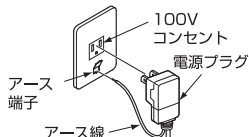
※ 給水ホースの長さが足りないときは下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同梱品の給水ホースの長さは970mmです。)
 お求めはTOTOパーツセンター
 TEL ☎ 0120-8282-55 へご連絡ください。
 FAX ☎ 0120-8272-99

給水ホース長さ違い一覧表		
給水ホース長さ (mm)	品番	希望小売価格
1180	D24006ZSt17	¥2,000 (税込み価格¥2,100)
1480	D24006ZSt18	¥2,300 (税込み価格¥2,415)
1980	D24006ZSt19	¥2,800 (税込み価格¥2,940)

※ 給水ホースをはずすときは必ず止水栓を開めてください。

5 アース線の接続

- アース線をアース端子に接続する
- ※ アース端子が無い場合は電気工事店にご相談ください。

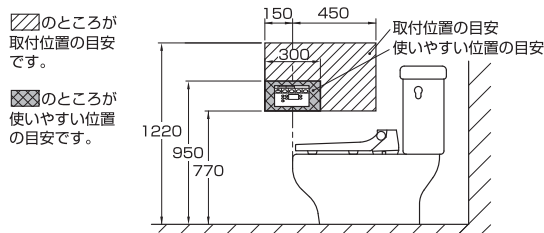


6 電源プラグの確認

- 1 電源プラグを100V (50/60Hz) のコンセントに差し込む
- ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。
- 2 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する
- 「切 (テスト)」ボタンを押す → 切表示ランプが点灯する
 - 「入 (リセット)」ボタンを押す → 切表示ランプが消灯する
- 以上のように作動すれば正常です。
- 切表示ランプが点灯している状態では通電されません。テスト後は必ず「入 (リセット)」ボタンを押してください。

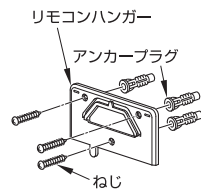
2 次の確認を行なってリモコンの取付位置を決める

- 〈操作性の確認〉
- 便座に座った状態で操作を行ない、取付位置を決めてください。
- 〈作動の確認〉
- ノズルを押し込んで「ノズルそうじ」(ノズルクリーニング) を押してノズルが伸縮することを確認してください。
 - 万一、リモコンで作動しない場合は、下図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。



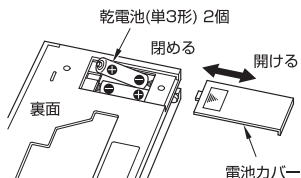
3 リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイル壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。

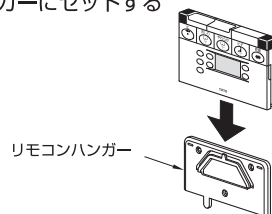


7 リモコンの取り付け

- 1 電池カバーを開け、リモコンに電池を入れる
- ※ ⊕ ⊖ を間違えないでください。



4 リモコンをハンガーにセットする

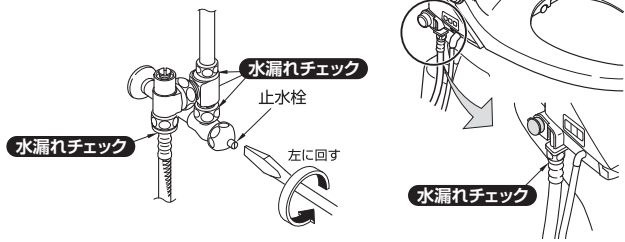


試 運 転

- 試運転の前及び試運転完了時は必ず「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。（「入」のときは、「運転」ランプが点灯します。）
- 「運転入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。**お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。**

1 水漏れの点検

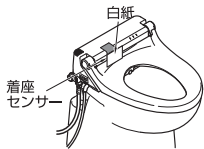
- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する
 - 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する
 - ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する
- ※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。



2 機能の確認

1 着座センサーを白紙でおおう

- 着座センサーを白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。検知した状態になるとノズル付近から数秒間水が出ます。（便座を閉めないで着座センサーをはたらきません。）



2 脱臭機能を確認する

- 本体背面右側の吹出口より風が出ていますか？

3 パワー脱臭機能を確認する

- パワー脱臭 (15) を押すと脱臭音が大きくなりますか？
- もう一度パワー脱臭 (15) を押すと通常の音に戻りますか？

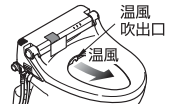
4 洗浄機能を確認する

- (16) を押すとノズルから適温の温水が出ますか？
- 水勢調節 (強) (弱) を押すと水勢が変化しますか？
- (17) を押すと止まりますか？



5 乾燥機能を確認する (PD2Aのみ)

- (18) を押すとノズルの右側から温風が出ますか？
- (19) を押すと止まりますか？



6 暖房便座機能を確認する

- 便座があたたまるまで約15分かかります。

7 着座センサーを白紙で30秒以上おおった後、白紙をはずす

8 オートパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか？
- 約1分後に自動で止まりますか？

9 オート洗浄機能を確認する

- 約5秒後に自動で便器洗浄しますか？

10 リモコン便器洗浄機能を確認する

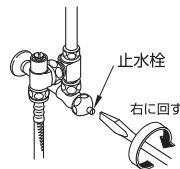
- ※ オート洗浄後、リモコン便器洗浄機能を確認するときは10秒以上間隔をあけてください。
- (大) (強) (小) を押すと、便器の水が流れますか？

給水フィルターの掃除

- 試運転後は必ず給水フィルターを掃除してください。（フィルターにゴミが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。）

1 止水栓を閉めて給水を止める

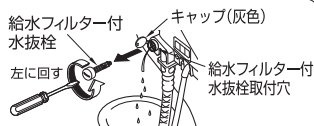
- ロータンクの水を流してください。（給水管内の圧抜きです。）



注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜き栓をはずさない（水が噴き出します。）

2 キャップ(灰色)を開けて給水フィルター付水抜き栓をゆるめた後、引っ張ってはずす



3 フィルターを水洗いして小さなゴミを取る

- ※ 本体の給水フィルター付水抜き栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。



4 給水フィルター付水抜き栓を押し込み確実に締める

注意

給水フィルター付水抜き栓は確実に締める（確実に締めないと水漏れの原因になります。）



5 止水栓を開けて給水フィルター付水抜き栓部から水漏れがないことを確認する

6 キャップを閉める

凍結のおそれがあるときの処置

- お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故予防のため、次の要領で水抜きしてください。（電源プラグは差し込んだままにしてください。）

1 止水栓を閉めて給水を止める

- ロータンクの水を流してください。水が流れ出してしまうまでレバーを回したままにしてください。

注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜き栓をはずさない（水が噴き出します。）



2 配管の水を抜く

- ① リモコンの (16) を押す（配管内の残水を抜く準備です。）

- ② キャップ(灰色)を開けて給水フィルター付水抜き栓をゆるめた後、引っ張ってはずす



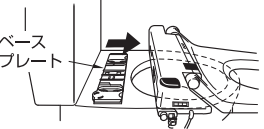
- ③ 給水ホースを持ち上げてホース内の水を抜く（約30ml）



- ④ もう一度リモコンの (16) を押す（ノズルを元に戻します。）

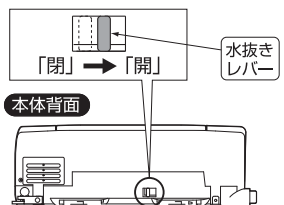
3 本体を取りはずす

- 取りはずした本体は便器上面の前側に置いてください。



4 水抜きレバーを「開」位置にする

- 本体底面から水（約40ml）が便器内に出ます。



5 水抜きレバーを「閉」位置に戻す

- 給水フィルター付水抜き栓を押し込み確実に締めてキャップ(灰色)を閉める（給水フィルターの掃除 ④ 項参照）

7 本体を取り付ける

工事店様へ

- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。（ただし、凍結が予想される場合は、電源プラグを抜かないでください。）